

カミヤ ソウヘイ 神谷 宗幣

吹田市議会副議長・建設委員会委員



1977年福井県生まれ。
福井県立若狭高校、関西大学文学部、関西大学法科大学院卒業(法務博士号取得)。
大学時代の海外生活で、「日本の若者の意識を変えなければ、この国の将来が危ない」と危機感を抱き、日本の教育改革を目指して政治家を志す。食品スーパー店長、高校教師を経て、29歳で吹田市議に初当選。
現在2期目。
予備自衛官。龍馬プロジェクト全国会会長。

【連絡先】
吹田市千里山西1-37-40
かみやソウヘイ事務所
TEL : 090-6059-8330
FAX : 06-6385-1239
Mail : info@kamiyasohhei.jp



<http://www.kamiyasohhei.jp>

後藤恭平
ゴトウ
キヨウヘイ



・議会運営委員会副委員長
・文教市民委員会委員
・市民病院の在り方特別委員会委員
・企業決算審査特別委員会委員

[連絡先]吹田市西の庄町2-28
ごとうキヨウヘイ事務所
TEL : 06-6380-8802 FAX : 06-6310-8919
Mail : info@goto-kyohei.net

会派代表のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひいたします。昨年は、市議選に市長選、知事選と続き、選挙づくしの1年でした。そして今年は新年早々解散総選挙の話が上がっています。どの選挙においても台風の目となるのは「大阪維新の会」で、メディアでも多数取り上げられ、その話題性は増すばかりです。メディアや書籍などを通じて維新の会の政策をみれば、賛同するものも多い反面、その会の成り立ちや本市の市長の政策実施、吹田市役所の内情を知る私からすると、この会に加わっても「私の目指す政治はできないな」と感じる日々です。詳しい事情や心情は1月2日に更新した私のホームページに書きましたので、ご一読いただければと思います。

橋下氏の人気に国民がわき、メディアだけでなく国会議員までが擦り寄る姿を見ると、日本国民はムードに弱く、信念のある政治家はいないのかと残念に感じながら、先の大戦前(1930年代)の世情を連想しています。吹田市においても同じ状況で、選挙で勝つ維新市長の勢いの前に、前市長についていた幹部は新市長の顔色を伺い、政策を180度変えて平気顔。また、市長に擦り寄り、自分の支援者のための口聞きをすすめる議員、半ばやる気を失った中堅職員。憤慨している若手職員。国民、市民の人気と、実際の現場の乖離。その両方を見つめながら、自分たちが政治家になった「原点」を確認する新年です。

今年、解散総選挙となれば、市長のバックアップで維新の会と組んだ自民党の候補者が選挙を優位に戦うでしょう。そこでも勝つとなれば、吹田市での勢力図は完成し、市長の政策に異を唱える者もいなくなるかもしれません。そんなことは分かっていても、「バカ正直の頑固者」と言われても、吹田新選会の3人は、お天道さまに顔向けてできる政治を貫き、時流に流されること無く、「吹田市の良心」と信頼されるチームであることをメンバーで確認し合い、今年の活動を始めました。

もともと何も無いところから始まった若手の無所属会派「吹田新選会」。今年の初心は「不撓不屈」です。

新年、明けましておめでとうございます。

今定例会では、井上市長のビジョン無き改革の齟齬が目立ちましたので、私から様々な意見・指摘をしました。しかし、私は以前から、こういった指摘や文句ばかりを言うのではなく、しっかり提案もしていくと言っていました。今定例会においては、様々提案したのですが、特に職員の人事・組織マネジメントの必要性を訴え、職員と民間との官民交流や他の行政との官官交流、業務の効率化といった組織の新陳代謝や活性化を促すことについての提案をしました。

吹田市の政治は吹田市民のためにあり、政治の結果は吹田市民の皆さんに反映されます。当たり前のことがですが、今の吹田市政は誰も見ていないと思って好き放題する傾向です。

私が頑張るのは当然ですが、どうか皆さんも吹田市政に注目してください。

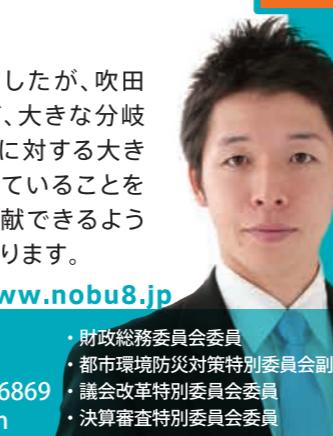
<http://www.goto-kyohei.net>

選挙のときにも訴えておりましたが、吹田は新たな街づくりが始まるなど、大きな分岐点を迎えてます。将来の吹田に対する大きな責任が、我々の双肩にかかっていることを自覚し、日本一の街づくりに貢献できるよう今年も必死で活動を行ってまいります。

<http://www.nobu8.jp>

[連絡先]吹田市南金田1-4-11-106
足立ノブカツ事務所
TEL : 06-6339-6839 FAX : 06-6339-6869
Mail : nobukatsu.adachi@gmail.com

足立 将一
アダチ ノブカツ



吹田新選会通信 Vol.20

2012.01



井上市長! 維新改革はこの程度ですか!? ~行政の維新編~

12月議会では、維新の会の顧問である井上市長の公務員制度改革の具体策が条例としてあがってきました。市長選挙を戦った私ども吹田新選会から見ると、「あれだけ公務員改革をういたながら、市長、これで改革ですか?」と目を疑う内容です。

今回公務員制度改革は

3つの条例案に分かれて審議されました。

1. 役職に応じた3%~12%の給料カット

2年2ヶ月の時限的なもの → 可決

2. わたりの廃止を含む給料表の適正化

役職があがらなくとも給料が上がり続けるという制度が変更
(新たに「主任」という役職が作られた) → 可決

3. 退職手当の増額

これまで増加を抑制していた縛りを
はずし実質退職金があがる → 継続審議

市長は改革の目玉で、公務員の給料を削ると言っておられたので、大幅削減があると思っていましたが、

今回の改革の効果額は多めに見ても約8億円。

年間300億円近い吹田市的人件費から考えると、
その比率は微々たるものです。

今回の規則改正では様々な手当が廃止されたのですが、給料表改正後も年間平均人件費がほぼ同じであることから手当廃止分は給料でまかなっていることになります。また給料カットの期間はわずか2年2ヶ月で、退職金は増額しようとしていました(大阪府は5%カット)。

「言葉だけのパフォーマンスではなかったか!?

お手盛りの改革ではないか!?」と言わざるをえません。
「改革に協力しない」とレッテルを貼られても困るので、一応の賛成はしましたが、身内に甘いま、市民サービスのカットに踏み切れるかどうか、今後の市長の動向をしっかりとチェックしていきます。

一人当たりの平均人件費推計

平成23年度	814万1千	2年2ヶ月で 給料カット 廃止 の場合
維新改革	↓	
24年度	793万3千	
25年度	791万9千	
26年度	791万1千	
27年度	791万3千	
28年度	791万6千	

給与制度改革による削減額合計

平成23年度	0	2年2ヶ月で 給料カット 廃止 の場合
維新改革	↓	
24年度	-7億3911万8千	
25年度	-7億8766万8千	
26年度	-8億1682万2千	
27年度	-8億1111万1千	
28年度	-7億9954万	

ある職員のぼやき…

30代の職員が多い職場だったか、

全員が今回の公務員制度改革で主任になった。

仕事の内容や責任は、係員と同じで変わらないのに…

なんで役職を与えたのだろうか?



議案報告

12月議会では南千里駅前に完成する「南千里公共公益施設」(仮称)に入る施設の議案が提案されました。

図の○マークの施設は、目的・所管が違うとはいえない貸館施設になります。この施設の建設については前期の議会で決まっており、使用する市民のニーズがあると判断し、全体としては反対しませんでした。しかし、具体的な施設の内容や運営費を精査すると、財政非常事態宣言を出した吹田市が新規で建設するにはあまりにも無駄が多いように感じます。今後、施設の運用状況や管理費との費用対効果をしっかりチェックしていきます。

疑問視した施設 (図★マークの施設)

★1 平和記念資料館

現在男女共同参画センターの一角にある戦争関連の資料館。運営費に年間1500万円程度かかっているが、利用者は1日10人程度。戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える施設ということだが、内容は不十分。議会で「日本が戦争に至った原因や背景が考えられる施設」として運営することを担当部長が答弁したので、今後の運用を厳しくチェックします。

★2 千里ニュータウン情報センター

日本初のニュータウンである千里が歩んできたまちづくりの歴史及び住民の生活文化に係る資料の常設展示を行う施設です。博物館に統合できるのでは?

★3 千里花とみどりの情報センター

現在江坂公園にある施設をニュータウンにも設置。貸館業務を行っているが減免制度のため年間収入は昨年で1万2500円。よく行政が答弁に使う「受益と負担の公平性」に該当しない例外的な施設だとのこと。

南千里公共公益施設(仮称)

階	施設	所管部署
8階	★ 平和記念資料館 ○ 千里市民センター	自ら人権部 市民文化部
7階	○ 南千里地区公民館 ○ 市民公益活動センター	地域教育部 市民文化部
6階	○ 吹田市国際交流協会	市民文化部
5階	千里ニュータウン 地域保健福祉センター ○ 高齢者生きがい活動センター	福祉保健部
4階	保健センター南千里分館	福祉保健部
3階	千里図書館	地域教育部
2階	○ 千里市民センター ★ 千里ニュータウン情報センター	市民文化部 都市整備部
1階	千里出張所 ★ 千里花とみどりの情報センター 郵便局	市民文化部 建設緑化部
地下1・2	駐車場・駐輪場	

財政非常事態宣言を出し、市民サービスを切り詰める中の箱物建設。本当に必要なのか?

市長の後援者が良く使うだろうとささやかれる中、議会での反対の声が小さかったことに新人議員は疑問を感じています。

ガンバ新スタジアム建設決定!!



ガンバ新スタジアム完成イメージ



エキスポパーク跡地施設イメージ

ガンバ大阪の新スタジアムが万博の地に建設され、吹田市が寄贈を受けることが12月議会で決定されました。また、エキスポパーク跡地での複合商業施設建設の案も発表されています。

スタジアムが寄贈されれば、運用の過程で吹田市の税金も少しはかかるでしょうし、大型施設ができれば、地域の環境や交通事情などにも一定の影響があります。そうしたマイナス面を想定し対策を考えていくことがまず肝要です。そして万博公園には年間約160万人来場があるので、吹田市に対する経済効果が薄いという反省点を見つめ、今後大型施設の建設に伴い、地域や吹田の町に賑わいが生まれ、経済効果をどう作り出すか、官民一体となって考えていく必要があります。我々吹田新選会は、現在の吹田市内各所と万博公園を結ぶ交通アクセスを電車の延伸やバスの路線編成はもちろん、宿泊施設の増設等も含めて検討し、万博開発を吹田市・吹田市民にとって最大限効果を得られるように提案をしてまいります。この閉塞感のある時期の夢のある開発ですので、「できてよかった」と皆さんに感じていただけるよう、吹田新選会は提案をしてまいります。

吹田新選会 2011.12月議会報告

吹田新選会議会質問と答弁の概要

全民に負担をお願いする前に滞納している市民から徴収する方策を講じろ!

代表質問 質問者:後藤 恒平

公務員制度改革は働くかない職員の制度も見直すべきだ!

Q1 吹田市正職員の30日以上休んでいる人数は111人。休職者と呼ばれる定義は連続90日休んでいる職員。この休職者数は59人。休職1年目は手当を含めて給与支給は通常の80%を支給。休職は3年間続くまで分限免職にならない。1日でも出勤するとカウントは1からスタート。公務員制度改革はこういった社会的に不均衡な休職者の制度を見直すべきではないのか。休職者の休んでいる日数を90日刻みで明らかにしろ。

総務部長答弁

A 休職の制度は来年度から通算日数でカウントします。91～360日の休職者は34人、361～720日は11人、721～1080日は7人、1081日以上は7人。

再質問

Q 来年度から見直す通算日数でのカウントは制度を創設した時からのカウントか、それとも今の休職日数も含む遡及的なものになるのか。

総務部長答弁

A 制度を作った時からのカウントになるかと思います。

! これは問題です。これらの休職者のカウントが制度変更によりカウントが最初からになるということ。つまり、もう一度最初から給料を払うということになります。制度変更の前にこういった休職者への対応を見直すべきです。誤魔化される前に、私は制度設計の前にこういった職員への対応をこれから提案していきます。

個人質問 質問者:足立 将一

A 危機管理官答弁

避難体制の再検討の必要を感じているが時間がかかる。備蓄物資の分散化についても避難体制の再検討を踏まえ推進の必要を感じている。

A

教育ビジョンについての市長の明確な答弁なし